

## 未病いやしの里センター（仮称）基本計画案について

## 1 趣旨

「県西地域活性化プロジェクト」に基づき、県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールしていくため、未病に関する総合的な普及啓発を行うとともに、地域の活性化につながる「にぎわい」を創出するための核となる拠点施設として、民間事業者が主体となって整備する商業施設を「未病いやしの里センター（仮称）」に位置付ける。

最優秀提案として採択した(株)ブルックスホールディングスと大井町の共同提案に基づき、同社が今年度中に基本計画案の作成を行うこととしている。



## 【設置場所・面積】

足柄上郡大井町山田300番他（現・ブルックス大井事業所）

607,878.22m<sup>2</sup>

## 2 検討状況

(株)ブルックスホールディングスが、受託したコンサルタント会社と一緒に、大井町や県と連携を図りながら、基本計画案の作成作業を進めている。

## (1) 基本計画案とは

センター全体について企画や事業計画を示すものであり、基本コンセプト、整備に向けた課題と対応策、エリアのゾーニングや具体的な施設の配置、事業スキーム、スケジュールなどを盛り込む。また、センター内に設置する県が整備・運営する展示施設については、展示物の内容やフロア配置などを盛り込む。

## (2) 基本計画案の概要

## ア 基本的な考え方

県西地域の新たなにぎわいの核として、観光客をはじめとした人々が「未病」を治す取組みに出会う場、にぎわい機能と連携しながら未病を治す取組みを実践できる場、未病関連産業の企業を支援する場などを基本コンセプトに、既存施設を有効に活用しながら、にぎわい、スポーツ、里山、いやしなどのテーマに応じてゾーニングし、特色ある事業展開を図る。

## イ スケジュール

「県西地域活性化プロジェクト」の計画期間である平成32年度までの出来る限り早期の開設を目指す。（段階的な開設も検討する）

### (3) 県展示施設の概要

#### ア 基本コンセプト

県が担う「未病」に関する情報発信機能及び未病の見える化・地域コンシェルジュ機能として、本館2階に県が展示物等を設置した展示施設を整備し、運営する（平成29年度中の開設を目指す）。

デジタル技術や映像を活用した展示物や測定機器をフロアに配置する「体験施設」として、子供から高齢者までの幅広い世代が、楽しみながら未病について学ぶことができる内容を検討している。

測定結果に基づいてアドバイスを受けることや、県西地域の未病を治す施設やスポットを幅広く紹介するコーナーを設けることも検討している。

#### イ 整備のスケジュール

平成28年度 展示物の設計（基本及び実施）

《未病いやしの里センター(仮称)設置推進事業費（27年度2月補正予算額）》

2,200万円

平成29年度 展示物等の制作・設置、展示施設の開設

### 3 今後の予定

平成28年3月末に基本計画案を完成し、案を基に5月を目途に基本計画を決定した上で、県、大井町、(株)ブルックスホールディングスがそれぞれの役割分担のもとで、施設整備に向けた取組みを進める。なお、県西地域全体と連携しながら、イベントなどの開催やプロモーション活動を積極的に行っていく。